

# なごみだより

平成21年7月1日発行 第7号  
犯罪被害者自助グループ「なごみ」の会

問い合わせ先 鳥取県庁くらしの安心推進課  
TEL 0857-26-7183

## 放送コンテストへの取材を

年が明けたかと思い、このたよりを発行してから早くも1年の半分以上が過ぎていた。その間皆様の中ではさまざまな事が生活を通して、闘争めいたものだったり、周囲との協調や調和だったり、あらゆるパターンがあったと思うのです。

さて、パネル展も昨夏より県内の巡回を県立図書館を通じて、市町村の図書館や公民館などが協力を惜しまずサポートして下さったおかげで、2セットをほとんどフル回転させ、広く県民の皆様に見ていただくことができました。

この中で4例だけ高校で開催してもらった中で、鳥取東高校の放送部から“なごみの会”をインタビューしたいとの申し入れがありました。春休みに入り、まだ校庭に雪が残って底冷えのする日、私は放送部員の中村蘭さんという、いかにも純心そうな女学生と向き合い、いろんな質問を受けました。それは、生命のパネル展を見て、心を突き動かされたから取材して、今年の放送コンテストに出場したいというのです。

6月1日まず県内の東部地区の予選があり、それを通過して6月13日には鳥取県大会、そのアナウンス部門で6名に選ばれたら東京の全国大会でNHK杯を争うというものです。私は自分たちの“なごみの会”を広く放送するという前提だから気になり、2回とりぎん文化会館で聞かせてもらいました。

彼女は何よりも冷静で、はっきりとした言葉の表現、そして高校生にしては現代の社会に対する鋭いまなざしが評価され、全国大会への切符を勝ち取ることができました。7月の全国大会当日私は国内には不在ですが、是非ともベストを尽くしてほしいと、13日には彼女にエールを送って帰りました。

(7月21日～24日、東京のNHKなどの会場で行われる予定です)

なごみの会会員

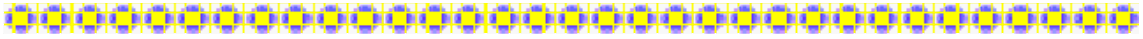
## 米原美由紀さんの講演がありました !!

今回の被害者支援特別講演会は、これから被害者支援活動にかかわろうとしている人達を対象に開催されました。特に警察学校の学生全員に聞いてもらったのは、とても価値のある事でした。

美由紀さんは、妹の沙緒理さんを亡くされてからまだ3カ月も絶たないうちの講演でした。我々なごみの会の人間ならば、そのような時はまだ自分自身もシャンとせず、あまりにもガラリと変わってしまった環境に対し、素直に受け入れできない時期だとよ

くわかっています。美由紀さんは冷静に現状を分析し、6月18日に衆議院で可決された「脳死」の問題にもふれ、我々被害者遺族の複雑な胸のうちも、きちんと言葉を添え話されました。

出席者全員に犯罪被害者遺族のおかれている立場に理解をと、訴えた熱意と前向きな姿勢は敬服に値します。



H21年6月27日（土） なごみの会を琴浦町の「まなびタウンとうはく」で開催しました。（出席者8名）



### 今後の活動予定



H21年7月25日（土） なごみの会開催（とっとり被害者支援センター内）  
8月のなごみの会は県外での研修を計画したいと考えています。

